

公 表

第6 1回技能五輪全国大会「配管」職種

持参工具等一覧表 (参考) に関する注意事項

- 持参工具・接合材料等は、課題製作に必要なもので、適正かつ安全なものとする。
- 持参工具等一覧表は参考とし、適切な工具を選択して使用することも競技の一環とする。
- 競技下見日の工具展開終了後は、新たな工具類は持ち込めない（充電式ドライバ・充電式作業灯の電池を除く）。競技開始後、競技場所（ブース）内に持参工具を持ち込む場合は、申告制とする。但し、減点の対象となる。
- 持参工具の中で、型取りや採寸等の事前加工した治具、及び競技材料と混同しやすい材料の持ち込みは不可とする。これに該当するかどうかは、競技下見日に競技委員による協議にて判断する。
 - (1) ガス用トーチランプは、カートリッジ1本とする。
 - (2) パイプ万力の脚部安定用の金具等は、使用しても良い。但し、競技場所の床への直接固定は出来ない。
 - (3) 電動工具類は「充電式ドライバ・作業灯（電池式又は充電式）のみ使用可とする。他のものは持込不可とする。また、会場での充電はできない。
 - (4) 治具、型板及び原寸図は、競技時間中に作成すること。
 - (5) 塩ビ管接着剤は、管材に合わせて無色透明のものとする。
 - (6) シールテープと液状シール材との併用は出来ない。
 - (7) 水圧テスト器（手動式）は、公開水圧審査時に使用するので必ず持參すること。仕様はGV15Aへの接続用継手を含み、ゲージの最高目盛りは、2.5MPa以下とし、圧力計の径は75φ以上とする。
 - (8) ねじ切り用切削油の油受けとして、新聞紙等の燃えやすいものは使用しないこと。
 - (9) 水容器を持参してもよいが、指定された競技場所（ブース）内で使用すること。

- (10) 会場には「耐火レンガ」「バケツ」「合板（原寸図作成用）：約 910 mm×910 mm×4 mm」の準備がある。
＊本大会より「耐火板」の配布を取りやめている。
- (11) 必要に応じ、課題作成に適した踏み台を持参してもよい。なお、「課題作成に適した踏み台」とは、下記の要件を満たすものとする。
- ・強度 自重を支えるために十分な強度があるもの
 - ・昇降 安全に昇降できるもの
 - ・姿勢 安定した姿勢で作業ができるもの
 - ・天板 安全に作業ができる広さの天板を有するもの
- (12) 各自作業用の時計を持参し、時間管理を行うこと。また、基準となる時計は会場で指示する。

(参考)

事例 1 認められない工具棚の事例



支給材料と混同しやすい材料を
工具収納として使用している。

第6回技能五輪全国大会「配管」職種 持参工具等一覧表

注) 下記はあくまで参考です。各自適切かつ安全な工具等を選定し持参してください。

区分	品名	
工具類	ハンマー	木づち、金づち、プラスチック
	やすり	銅管用、鋼管用
	面取り器	
	のこ	ビニル管用のこ、鋼管用金切りのこ（弓のこ）
	銅管カッタ	
	塩ビ管カッタ	
	鋼管カッタ	
	はさみ	型板作成用
	トーチランプ	ガス用に限定する
	サイジングツール	銅管用
	レンチ類	モンキーレンチ、ラチェットレンチ（立てバンド取付け用）、モータレンチ、スパナ
	プライヤ	
	パイプ万力	
	手動式パイプねじ切り器	JIS管用テーパねじ用（カセット型も可）、SGP15A～20A用
	パイプレンチ	
	立水栓取付レンチ	
	油さし	
	ドライバ	充電式可
	きり	
	銅管用研磨ブラシ	サンドペーパ・内外両面ブラシ
	工具棚	
	踏み台	必要に応じ持参すること。

接合材料	銅管用はんだ	
	フラックス	銅管はんだ用
	塩ビ管接着剤	塩ビ管接続用
	シールテープ	シールテープと液状シール材の同一箇所での併用はできない。
	液状シール材	
測定具他	墨つぼ	チョーク墨も含む。
	定期規	直・曲尺、巻尺、折り尺、ノギス等
	スケール	
	製図用具	
	水平器・勾配器	
	水圧テスト器（手動式）	ゲージの最高目盛りは2.5MPa以下、圧力計の径は75φ以上とする。
その他	筆記用具	原寸図作成用
	石筆・チョーク	
	着火用ライター等	
	霧吹き	
	防炎シート	
	小ほうき	ちりとり共
	ウエス	
	作業灯	電池式又は充電式
	時計	作業時間管理用